



2026年5月15日

各位

会社名 株式会社 イード
代表者名 代表取締役 宮川 洋
(コード：6038、東証グロース)
問合せ先 執行役員 管理本部 本部長 久岡 千恵
(TEL. 03-6635-0000)

2026年6月期通期業績予想及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2025年8月14日に公表した2026年6月期通期（2025年7月1日～2026年6月30日）業績予想及び期末配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年6月期通期連結業績予想数値の修正（2025年7月1日～2026年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	6,400	600	600	372	76.49
今回修正予想（B）	5,800	230	250	340	69.48
増減額（B－A）	△600	△370	△350	△32	
増減率（％）	△9.4	△61.7	△58.3	△8.6	
（ご参考）前期実績 （2025年6月期）	6,084	459	454	307	62.64

2. 通期業績予想修正の理由

当社の第3四半期連結累計期間（2025年7月～2026年3月）における業績は、売上高は前年同期比95%、営業利益は前年同期比60%、経常利益は前年同期比66%となりました。

前期の営業利益は、「ネット広告」領域の中でも特に高収益なカテゴリーが大きく寄与しておりました。一方で、当該カテゴリーは外部環境の変化による影響を受けやすく、収益変動リスクも大きいことから、当社では中長期的な企業価値向上に向け、収益構造の転換を積極的に進めてまいりました。

今期は、「AIメディアカンパニー」への進化を見据えた重要な移行期間と位置づけ、短期的な利益追求に偏ることなく、将来の成長基盤強化を優先した戦略投資を実施しております。

具体的には、AI活用による業務改革を推進するとともに、収益源の多角化を目的とした「360度ビジネス」へのシフトを加速しております。特に、「データ・コンテンツ提供」領域については概ね堅調に推移しており、継続収益性や顧客接点の拡大という観点から、今後の成長を支える重要な事業基盤として着実に拡大しております。

一方で、「ネット広告」領域における高収益カテゴリーの縮小が当初想定を上回るスピードで進行したことから、短期的には営業利益への影響が生じました。しかしながら、これは将来の安定成長に向けた事業ポートフォリオ転換を前倒して進めた結果であり、当社としては、中長期的な収益基盤の質を高める重要な取り組みであると考えております。

また、第4四半期連結会計期間（2026年4月～6月）においても、AI活用関連投資に加え、新規イベント

投資など、顧客・出展者・参加者との継続的な関係性を構築するための取り組みを積極的に推進してまいります。これらの施策は、単発収益ではなく、中長期的な顧客基盤・コミュニティ形成を通じた持続的成長につながるものと位置づけております。

当社は、短期的な収益変動に左右されない、持続的かつ再現性の高い成長モデルへの転換を進めております。今後も、AI時代に適応した事業ポートフォリオの構築と、中長期的な企業価値向上に向けた投資を継続してまいります。

3. 期末配当予想の修正

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	—	22 円 00 銭	22 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	—	23 円 00 銭	23 円 00 銭
当 期 実 績	0 円 00 銭	—	—
前 期 実 績 (2025 年 6 月 期)	0 円 00 銭	22 円 00 銭 (普通配当 16 円) (記念配当 6 円)	22 円 00 銭

(配当予想修正の理由)

当社第3四半期連結会計期間末(2026年3月末)の連結株主資本は4,639百万円となり、前期末(2025年6月末)比322百万円増加いたしました。事業構造転換を進める中においても、財務基盤は着実に強化されており、株主資本の積み上がりは順調に推移しております。

当社では、中長期的な企業価値向上に向けた成長投資を継続するとともに、株主の皆様への安定的かつ継続的な利益還元を重要な経営課題の一つとして位置づけております。

今回、短期的な業績変動はあるものの、財務基盤の健全性、今後のキャッシュ創出力、および中長期的な成長に対する見通しを総合的に勘案し、改めて株主還元方針を検討した結果、2026年6月期の期末配当予想につきましては、2025年8月14日公表の予想から1株当たり1円増配し、23円へ修正することといたしました。

当社は今後も、「成長投資」と「株主還元」の両立を重視し、持続的な企業価値向上に取り組んでまいります。

(注) 本資料に記載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかわる本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上